

Rhythm of Green

石橋文化センター情報誌 みどりのリズム

October, 2021
Vol.387

10



久留米市美術館 2階

開館5周年記念

九州洋画II:大地の力 — Black Spirytus 12月12日まで開催

新型コロナウイルス感染拡大の状況により、掲載内容に関して変更場合があります。またご来園の際は、マスク着用や手洗い・消毒、咳エチケットなどにご協力お願いします。なお、発熱や体調不良の場合は、来園をお控えくださいますようお願いいたします。



石橋文化センター
ISHIBASHI CULTURAL CENTER

2階

開館5周年記念 九州洋画Ⅱ：大地の力—Black Spirytus— —12月12日(日)

九州洋画—原風景に思いを託して

本年11月、久留米市美術館は開館5周年を迎えます。それを記念し、9月18日より展覧会「九州洋画Ⅱ：大地の力」を開催しています。2016年の開館記念展と同じ「九州洋画」というタイトルのもと、改めて「九州の洋画」を貫いて流れるものを考えます。

日常の中で見慣れた光景は、普段は意識されなくても、故郷を離れた時などに懐かしく思い浮かぶものです。幼い頃から目にしてきた身近な山や川などは、画家たちにとって直接の画題となっただけではなく、心の奥にしまわれ、時に寄り添い、生涯を共に歩む「原風景」といえるかもしれません。

本展のテーマである大地、そして太陽や月、山河など、生活の傍にある自然をテーマとした絵画は、実際の景色をキャンバスに写し取ったというだけでなく、時には画家の思いを託すものとして描かれてきました。阿蘇山や桜島などは、梅原龍三郎はじめ日本中の画家たちがこぞって描いたピクチャレスクな景観ですが、不思議なことに、そこを原風景とする九州の画家たちの手になる作品は、一つひとつが全く異なる表情を見せるのです。

日本とパリで活動した田淵安一による燃えるような太陽と月の邂逅や、孤高の画家・高島野十郎が描いた冴え冴えとした夜の景など、現実と心象の間を揺れ動くような絵画と向き合う時、私たちもまた、自分だけの願いや祈りをそこに重ねるのではないのでしょうか。



田淵安一《蝕と大地》1956年 北九州市立美術館



高島野十郎《満月》1963年頃 東京大学医科学研究所

入館料 一般1,000円(800円)、シニア700円(500円)、大学生500円(300円) 高校生以下無料

※()内は15名以上の団体料金、シニアは65歳以上

※上記料金にて、石橋正二郎記念館もごらんいただけます。

※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳又は療育手帳等の交付を受けている方とその介護者1名は、一般個人料金の半額(500円)となります。

※前売券はチケットぴあ、ローソンチケット取り扱い店などにて600円で販売(Pコード685-529、Lコード86702)

※10/2、3はガーデンコンサートにあわせ18:00迄延長開館(入館は17:30まで)。

17:00以降入館無料。

開館5周年記念 九州洋画Ⅱ

大地の力
Black Spirytus



作品介绍

画面に広がる春の光景。大分出身の現代美術家・吉村益信の作品です。1960年に前衛集団「ネオ・ダダ」を結成して以来、テクノロジーを駆使した作品など、斬新な表現で注目された作家でしたが、1970年の大阪万博で多忙をきわめた後、喧騒に満ちたアートシーンを離れ、一時期エコロジーに関心を向けます。その頃に描かれた、彼としては珍しい絵画です。青いフレームの中、遠くけむる一面の菜の花畑には、早くに亡くした父親の故郷、田主丸竹野の光景が重ねられているのかもしれません。

吉村益信《菜の花畑》1974年 大分市美術館

関連イベント

■ トークイベント 共同ホール／要申込み(無料)

行くか 戻るか とどまるか ～それぞれの上京ものがたり

日 時 2021年10月23日(土) 13:30-16:00(13:00開場)

出 演 菅章氏(大分市美術館館長)／林田龍太氏(熊本県立美術館学芸課参事)
森山秀子(久留米市美術館副館長)

内 容 坂本繁二郎や海老原喜之助からネオ・ダダまで、作家と故郷とのかわりについてシンポジウム形式でお話をうかがいます。

会 場 共同ホール(石橋文化センター内)

定 員 200名

申 込 10月5日(火)まで下記方法で ※聴講無料

参加を希望される方の氏名(2名まで可)と代表の方の郵便番号、住所、氏名、連絡の取れる電話番号を記入の上、ハガキまたはFAXで久留米市美術館(イベント係)へ。応募多数の場合は抽選となります。結果は10月12日(火)までに応募者全員にお知らせします。

美術講座等その他のイベントにつきましては開催が決まり次第、HP等でご案内いたします。

1階 | 展覧会スケジュール

■ 筑陽学園高等学校デザイン科デザイン展2021 10月29日(金)～10月31日(日) 入場無料

■ 第72回 西部示現会展 11月9日(火)～11月14日(日) 一般300円、大学生以下無料

■ 久留米光画会 創立115周年記念写真展 12月7日(火)午後～12月12日(日) 入場無料

石橋正二郎記念館 SHOJIRO ISHIBASHI MEMORIAL MUSEUM

郷里久留米の発展に尽くした石橋正二郎の歩みやひとなり、正二郎によって建設寄贈された石橋文化センターの60余年の歴史を紹介しています。

一番奥に設置されたコーナーが「石橋コレクション絵画展示」で、正二郎と美術のかかわりを紹介しています。ここは、年に数回展示替えをしており、現在、「石橋正二郎と九州洋画Ⅱ」のテーマで、正二郎と九州洋画の関わりについて紹介するとともに、和田英作、片多徳郎ら九州にゆかりのある画家の作品を展示しています。

入館料 一般・シニア・大学生300円、高校生以下無料

休館日 月曜日

※久留米市美術館主催展覧会のチケットをお持ちのお客様は無料で入館できます。

※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳又は療育手帳等の交付を受けている方とその介護者1名は、一般個人料金の半額(150円)となります。

※10/2、3はガーデンコンサートにあわせ18:00迄延長開館(入館は17:30まで)。17:00以降入館無料。



片多徳郎《芙蓉》1924年 石橋財団アーティゾン美術館



久留米市美術館
KURUME CITY ART MUSEUM
ISHIBASHI CULTURAL CENTER

〒839-0862 久留米市野中町1015番地 TEL: 0942-39-1131 FAX: 0942-39-3134

URL: <https://www.ishibashi-bunka.jp/kcam>

開館時間 / 10:00～17:00(入館は16:30まで) 休館日 / 月曜日

f <https://www.facebook.com/KurumeCityArtMuseum/>

t <https://twitter.com/KurumeCityArtMu>



■ 久留米市美術館開館5周年記念イベント

今年の秋は、スペシャルな秋。バラにもみじに、そして、アートが楽しめる！

夏が終わると、芸術の秋です。秋になると、園内では、バラが華やかに彩り、ケヤキやイチョウ、カエデが色づき、秋を感じることができます。また、園内に、さまざまなテーマのアート作品を展示し、夜には、紅葉と作品をライトアップします。幻想的な芸術空間が楽しめ、美術館の展覧会だけではなく、園内でも芸術の秋を満喫することができます。



● 石橋正二郎記念館で展覧会をテーマにしたミュージアムコンサートを開催

美術館の5周年を記念してアクロス福岡とのコラボレーションコンサートを開催します。うらかな秋の日に、上質な音楽のひとつときをお楽しみください。

日時 11月28日(日) I部 13:30～ II部 15:00～ ※30分程度

会場 石橋正二郎記念館

観覧料 無料(久留米市美術館または、石橋正二郎記念館の入館料は必要) ◎観覧方法については、みどりのリズム11月号でお知らせします。

ミュージアムコンサート～マンドリンで贈る名曲～

10月27日(水) 14:00開演 石橋文化ホール

高い演奏技術から繰り出される上質かつ多彩な音色で数々の名曲の世界を表現し、多くの人々を魅了するデュオ、高橋和彦氏(マンドリン)と夏川由紀乃氏(ピアノ)を迎え、親しまれた名曲を中心に演奏をお届けします。展覧会と併せて、ぜひお楽しみください。

演奏予定曲 映画『ディアハンター』のテーマ(S.マイヤーズ)、『じょんがら』より(桑原康雄)

入場料 一般1,000円、シニア(65歳以上)700円、大学生500円 高校生以下無料

※みゅ〜ず会員は無料もしくは割引価格でご入場できます。※入場料には、久留米市美術館および石橋正二郎記念館の入館料を含みます。

チケット販売・問合せ

石橋文化センター TEL0942-33-2271/FAX0942-39-7837(受付9:00～17:00、月曜日は休館)

情報サテライト TEL0942-36-3080(受付10:00～18:00、臨時休館日あり)



夏川 由紀乃(ピアノ)

桐朋学園大学音楽学部演奏科卒業。第22回ピティナピアノコンペティション特級2台ピアノ部門優秀賞受賞等、数々の賞を受賞。オペラデュエット「Hue(ヒュー)」の伴奏者として東京芸術劇場での「ニューイヤーコンサート」出演。フォレストヒルレコーズよりソロCD「Sora」をリリース。ピアノを下田直子、落合敦、江崎光世、岡本美智子の各氏に師事。ピュウ音楽教室(福岡市、下関市)、フォレストヒルミュージックアカデミー(福岡市)各講師。福岡市在住。



高橋 和彦(マンドリン)

マンドリンを京都で川口雅行氏に師事。日本マンドリン独奏コンクールの審査員を務める。九州交響楽団定期演奏会や松山バレエ団公演にマンドリン奏者として参加。フォレストヒルレコーズよりCDを5枚リリース。現在、数少ないソリストとして各地でコンサート、講習会を開催。ピュウ音楽教室(福岡市、下関市、宇部市)、フォレストヒルミュージックアカデミー(福岡市)、大分ギターアカデミー 各マンドリン科講師。日本マンドリン連盟会員。鹿児島大学農学部獣医学科中退。福岡市在住。

NAOTO×沖仁 with 榊原大アコースティックライブ

11月3日(水・祝) 15:00開演(14:00開場)※みゅ〜ず会員優先入場時間13:30~14:00 石橋文化ホール

ポップス・ヴァイオリニストNAOTOとトップ・フラメンコギタリスト沖仁が奇跡の競演！
芸術の秋にお贈りする名曲の数々と白熱のステージを、石橋文化ホールでお楽しみください。

クラシックからポップスまでジャンルにとらわれない音楽センスと華麗なパフォーマンスで人気を博し、ドラマ「のだめカンタービレ」では一躍注目を集めたヴァイオリニストのNAOTOさんから、初の石橋文化ホールでの公演に際し、メッセージをいただきました。

僕自身初めての久留米での公演、とても楽しみにしています。
ヴァイオリンのコンサートといえば、堅苦しいものを感じがちですが、
馴染みのあるクラシック、ポップス、オリジナル曲、などをお届けし、
トークも織り交ぜ、皆様に楽しんでいただける演目となっています。
そして、なんと言ってもフラメンコギターの第一人者、
沖仁さんとのコラボも見どころです。
情熱的な、ギターの響きが織りなすスペインの風を感じていただけると
思います。

NAOTO



NAOTO(ヴァイオリニスト/作編曲家)

出演者 NAOTO(ヴァイオリン)

沖仁(フラメンコギター)

榊原大(ピアノ)

演奏予定曲 ビゼー:ハバネラ「カルメン」より

ピアソラ:リベルタンゴ

ロドリゴ:アランフェス協奏曲 第2楽章アダージョ

チック・コリア:スペイン

NAOTO:HIRUKAZE

(NHK「スタジオパークからこんにちは」テーマ曲) ほか

※演奏曲目は変更になる場合がございます。

入場料 全席自由 一般3,000円・大学生以下2,000円

(当日各500円増、学生券は文化センター窓口購入のみ取り扱い)

※メンバーシップみゅ〜ず会員は電話予約可。入場料10%割引(同伴者1名まで)。

また、開場前の13:30~14:00に優先的に入場することができます。

※本コンサートのチケットで、久留米市美術館で開催中の「九州洋画Ⅱ:大地の力」展を会期中、無料でご覧いただけます。

※本コンサート当日は、美術館は無料開館日となっています。

プレイガイド 石橋文化センター(0942-33-2271)/情報サテライト(久留米シティプラザ2階:0942-36-3080)/木下楽器店(0942-38-1111)

チケットぴあ(0570-02-9999・Pコード200-860)/ローソンチケット(<https://l-tike.com/>・Lコード83703)



『九州洋画Ⅱ:大地の力』を楽しむ講座

11月9日(火) 14:00~(60分程度)

久留米市美術館で開催中の展覧会『九州洋画Ⅱ:大地の力—Black Spirytus』(P.2参照)について、画家と作品にまつわるエピソードなどをお話します。

講師 佐々木 奈美子(久留米市美術館学芸員)

会場 石橋文化ホール

受講料 ミュージアム会員 無料、スタンダード会員500円、一般1,000円

※久留米市美術館入館料及び石橋正二郎記念館入館料を含む

申込 石橋文化センターへ要予約

(TEL0942-33-2271/FAX0942-39-7837)

※お名前、ご連絡先、(会員番号)をお伝えください。



坂本繁二郎《牛》1920年
石橋財団アーティゾン美術館

ホールイベント情報 HALL EVENT INFORMATION

新型コロナウイルスの感染拡大の状況により、催事の中止・延期など変更の場合がございます。詳細は主催者・問合せ先へご確認ください。

石橋文化ホール

24(日) 14:00 【中止】	【中止】 City Winds 久留米市民吹奏楽団(NPO)音楽会 Brass Message2021 問 特定非営利活動法人シティーウインズ 久留米市民吹奏楽団 ※今後のコンサート情報はホームページでお知らせします。 http://www.city-winds.net/concert/
-------------------------------	---

27(水) 14:00	石橋文化センターミュージアムコンサート ～マンドリンで贈る名曲～ 主 石橋文化センター tel.0942-33-2271 自由席 一般1,000円 シニア700円 大学生500円 高校生以下無料
-----------------------	--

文化センター共同ホール

17(日) 18:00	Pinokichi Piano Live 2021 in Fukuoka 問 岩 tel.080-1738-7464 自由席 3,500円
-----------------------	---

石橋文化会館小ホール

24(日) 10:30 - 16:00	市民人形劇学校 ～研究・実践交流編 問 特定非営利活動法人舞台アート工房 劇列車 tel.090-8222-8928 (釜堀) 参加費 500円 (要申込・先着順)
-------------------------------	--

市民ギャラリー「みゅ〜ず」

16(土) 10:30 - 17:00 17(日) 10:30 - 16:00	うさぎのマークのランドセル 早期割引 ご予約・販売会 問 株式会社大隈カバン店 tel.092-535-1122 無料
--	---

※上記内容は9月17日現在のものです。また、上記内容については主催者が会場の申し込みをされる際に申し出られたものですので、主催者の都合により変更になる場合があります。

主 公益財団法人久留米文化振興会主催事業 **問** お問い合わせ

ちょっと気軽にスタインウェイ&KAWAI EX

次回開催は未定です。
開催等のご案内はホームページでお知らせいたします。

コラム ——— 生きる芸術 日本庭園

庭とは、古くは儀式を行うための神聖な場所でした。早朝、白砂を敷いて浄化された庭に皇族が集まり儀式を行ったことが、朝廷の語源とされています。平安時代になると寝殿造り系庭園が現れ、自然の景色を表現した、優美な庭園が姿を見せました。庭園の中心となる池は、海や川を表し、築山で山を表しました。江戸時代になると回遊式庭園として発展し、海や山、滝の風景など、自然が創り出す名所を縮図として再現し、その旅路を体験するような工夫をしたと言われています。

ところで、石橋文化センターの寄贈者である、石橋正二郎・名誉市民の趣味は「美術」「建築」「造園」であったと言われています。当センターの日本庭園も石橋正二郎が自ら構想し、東京から職人を呼び寄せて、耳納連山の山石を使って作庭しました。

そんな石橋文化センターの回遊式日本庭園では、散策しながら庭の景色を楽しむことができます。庭の中には、太鼓橋や船着石などの視点場が幾つか設けられていますが、一番のおすすめは、楽水亭カフェから見る日本庭園です。これからの季節は、お食事やお茶を楽しみながら、窓から望む美しい紅葉をゆっくりと鑑賞できます。

日本庭園は、作庭四分、育成六分と言われますが、作庭から五十年が過ぎ、歴史を積み重ね、益々深みを増した当センターの日本庭園を、ぜひお楽しみください。

〔園内管理係 高木亮一〕



紅葉の日本庭園



ライトアップされた日本庭園

チケット情報 TICKET INFORMATION

新型コロナウイルスの感染拡大の状況により、催事の中止・延期など変更の場合がございます。詳細は主催者・問合せ先へご確認ください。

石橋文化ホール		石橋文化センター窓口	
27(水) 14:00	ミュージアムコンサート ～マンドリンで贈る名曲～ 問 石橋文化センター tel.0942-33-2271 ※久留米市美術館と石橋正二郎記念館の入館料を含む。	販売中	久留米くるくるチケット グルメ、お土産、体験など、久留米が誇る自慢のメニューを、 お得に安心して楽しめるチケット。 4枚綴り2,000円(500円券×4枚) 最新情報はコチラ⇒ 問 久留米くるくるチケット事務局 tel.0942-27-5616
11/3(水・祝) 15:00	NAOTO×沖仁 with 榊原大 アコースティックライブ 問 石橋文化センター tel.0942-33-2271	17(日) 15:30	けやきとアートの散歩路音楽会 パイプオルガン&チェロの調べ 問 けやきとアートの散歩路事務局 tel.0942-38-6822
久留米シティプラザ		城島インガットホール	
10(日) 14:00	俊友会管弦楽団 九州・久留米特別演奏会 問 俊友会管弦楽団事務局 tel.03-3955-4072 (藤原)	11/13(土) 14:00	こどもオペラ「ヘンゼルとグレーテル」 問 城島インガットホール tel.0942-62-2110
11/7(日) 19:00	足立雄大 ふるさとコンサートvol.1 問 足立雄大ふるさとコンサート実行委員会 tel.080-5254-3499 (足立)	31(日) 15:00	木嶋真優ヴァイオリン・リサイタル 問 おりなす八女 tel.0943-22-5332

※上記内容は9月17日現在のものです。販売状況により、お取扱いできない場合もございますので、何卒ご了承ください。

★石橋文化センター情報サテライト(久留米シティプラザ2階)でも文化事業チケットを取り扱っております。(TEL0942-36-3080 10時～18時、臨時休館あり)

問 お問合せ

公式YouTubeチャンネル スペシャルインタビュー

石橋文化センター公式YouTubeチャンネルで、久留米ゆかりのミュージシャンをお迎えして石橋文化ホールや久留米と音楽について、石橋文化センタースタッフとともにお届けします。

今回のゲストは、THE FOREVER YOUNGの皆さんや、日本を代表する音楽プロデューサーで久留米出身の松隈ケンタさん、くるめふるさと大使の植田真梨恵さん3人の、ここでしか聞けない久留米への想いや石橋文化センターの思い出、コロナ禍での音楽活動についての熱い想いを、ぜひご覧ください！

チャンネル登録も
お願いします



石橋文化センター公式
YouTubeチャンネル

いつでもまち旅「ヨガ体験と美術館鑑賞」

久留米まち旅博覧会事務局主催のいつでもまち旅に、石橋文化センターが登場します。早朝ヨガを体験しリフレッシュした後、楽水亭でまち旅限定の朝食メニューを食べて、最後に久留米市美術館「九州洋画Ⅱ：大地の力-Black Spirytus」を鑑賞します。石橋文化センターの自然のなかで身も心も豊かになれる体験をどうぞ。

日時 10月9日(土)、23日(土) 8:00～10:30(7:40受付開始)
料金 2,000円
定員 各15名(最少催行人員3名)・先着順
申込 久留米まち旅博覧会公式ホームページ(Web)

※お申し込み多数の場合、定員により締切りとさせていただきますので、ご了承ください。



ヨガ体験(講師：陣内かおり)



楽水亭朝食メニュー

※写真はイメージです

～ 久留米市立中央図書館 休館のお知らせ ～

中央図書館は、空調設備等改修工事のため、以下の期間は休館します。ご不便をおかけしますが、ご理解ご協力のほどお願いします。

期間 令和3年10月1日(金)から令和4年1月4日(火)まで
場所 中央図書館

・休館中は、六ツ門図書館及び市内図書館・図書関連施設をご利用ください。
・休館中は、六ツ門図書館は毎日開館します。
(第4木曜日から令和3年12月28日から令和4年1月4日を除く)
・移動図書館の運行、視覚障害者等への配送等の一部サービスは継続します。



久留米市立中央図書館
KURUME CITY CENTRAL LIBRARY
ISHIBASHI CULTURAL CENTER

〒839-0862 久留米市野中町970番地1 TEL: 0942-38-7116 FAX: 0942-38-7183
URL: <https://www.city.kurume.fukuoka.jp/1060manabi/2050library/>

カフェ&ギャラリーショップ楽水亭

営業時間／10:00～17:00 場所／石橋文化センター園内 美術館東側

楽水亭は新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行い営業しています。安心してご来店ください。
 なお、ご来店いただくお客様には、マスク着用、手指消毒、混雑時の入場制限へのご協力をお願いしております。

●九州洋画II:大地の力-Black Spirtus展開催記念 楽水亭九州フェア

楽水亭カフェでは福岡県の名物「焼きカレー」や宮崎県の名物「チキン南蛮」、長崎県の名物「長崎皿うどん」を2週替わりでご用意します。(平日・数量限定)本フェア限定のメニューをお召し上がりください。テイクアウトショップでは熊本県小国町の焼いもを販売します。甘くとろける焼いもは秋におすすめです。ギャラリーショップでは佐賀県や沖縄県、鹿児島県の菓子や雑貨を販売します。秋は楽水亭で九州を楽しみましょう！



焼きカレー 900円



有田焼アクセサリ 500円～

ガーデンテラスコンサート2021

※新型コロナウイルス感染症拡大状況により中止する場合がございます。

10月2日(土)・3日(日) 18:00開演(17:30開場、18:40終演予定) 美術館横ガーデンテラス 入場無料

自然豊かな石橋文化センター園内で、秋の夕暮れを眺めながら生演奏をお楽しみください。

美術館と記念館は18時まで延長開館します(入館17時30分まで)。17時以降入館無料です。コンサートとあわせて芸術の秋をご体感ください。※雨天中止

演奏曲

10/2 黒田節、ガブリエルのオーボエ(E.モリコーネ) ほか

10/3 君をのせて(久石譲)、秋桜(さだまさし) ほか

2日
(土)



稲吉 えりな(オーボエ)



吉本 令子(ピアノ)

3日
(日)



安武 玄晃(サクソ)



福澤 修(ピアノ)

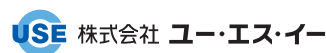
表紙イラストレーション 藤村のりこ 油彩、水彩、クレパスなど、様々な画材や技法を用いて、個展やグループ展を中心に活動。2009年度久留米市芸術奨励賞(洋画)受賞。

私たちは石橋文化センター・久留米市美術館の事業を応援します。

スペシャルパートナー



オフィシャルパートナー



※ すべての掲載催事の内容については、9月17日現在のものです。主催者等の都合により、変更になる場合もありますので、ご了承ください。 ※すべての掲載金額は、消費税および地方消費税を含む金額です。

石橋文化ホール／石橋文化会館／文化センター共同ホール

休館日 月曜日(祝日・振替休日は開館)、年末年始

開園時間 9:00～17:00 ※園内は年中無休。

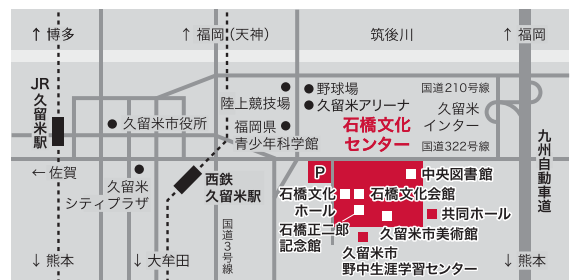
交通案内 <バス> 西鉄バス①⑨②②⑤系統 JR久留米駅より約15分、西鉄久留米駅より約5分
 「文化センター前」下車 <車> 久留米インターより国道322号線へ車で約10分

駐車場 8:00～22:00 最初の2時間まで200円、以後30分ごとに100円増。

※ただし30分以内の出庫は無料。

入庫から24時間最大1,000円 ※24時間以降30分ごとに100円増

園内利用のバスは、1台500円最長1日まで。(要予約)



石橋文化センター
ISHIBASHI CULTURAL CENTER

公益財団法人 久留米文化振興会
 839-0862 福岡県久留米市野中町1015番地
 Tel 0942 33 2271 Fax 0942 39 7837
 9:00～17:00 月曜休館(祝日は開館)
 www.ishibashi-bunka.jp



石橋文化センター公式Facebook
<https://www.facebook.com/ishibashibunka>